

# 日本企業の海外進出状況

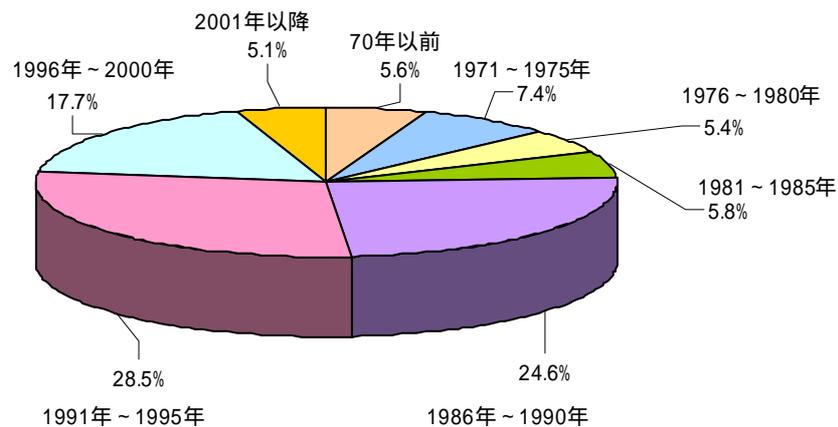
## 1. 海外現地法人の設立時期

### (1) 設立時期別構成比

海外現地法人四半期調査（平成16年4 - 6月期）の結果によると、我が国企業が所有する海外現地法人数（注）は、3,582社となった。

海外現地法人の設立・資本参加時期（以下、設立時期という）をみると、1986年以降～2000年までの間に約7割強が設立されている。その内訳は「1991～1995年」の28.5%が最も多く、次いで「1986～1990年」が24.6%、「1996～2000年」が17.7%であった。1986年以降に急増した背景としては、1985年の「プラザ合意」後の急速な円高によって生産コストの低い海外への工場移転が急激に進められたことなどがその一因にあげられる。

海外現地法人の設立時期別の構成比



注) 調査対象範囲：我が国企業（金融・保険業及び不動産業を除く全業種、資本金1億円以上、従業員50人以上）がもつ以下の海外現地法人を対象にしている。

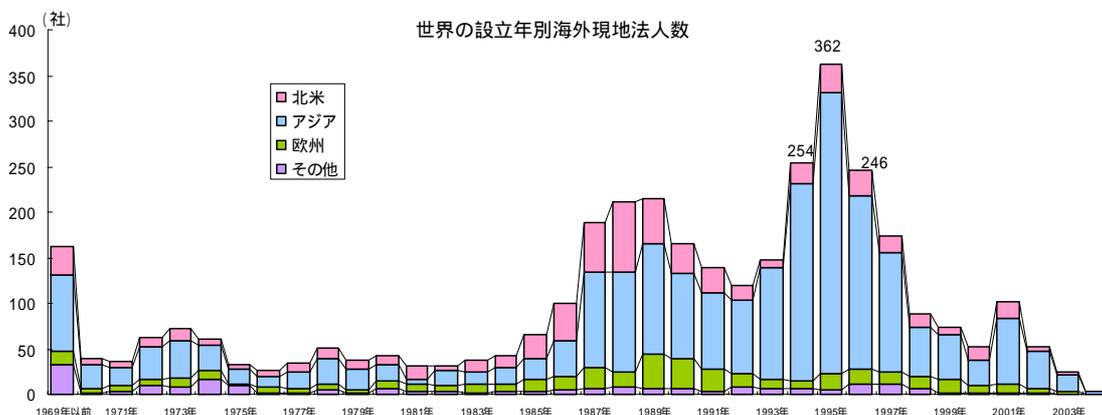
製造業

従業員50人以上

出資比率50%以上

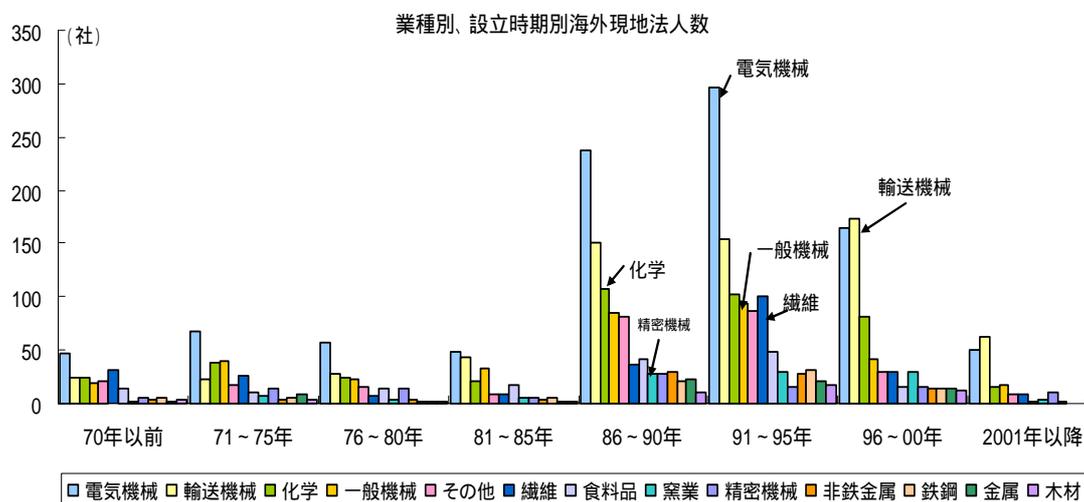
## (2) 地域別設立時期

設立年次別にみても、日本の企業が所有する海外現地法人の設立時期が最も多い年は1995年で、362社、次いで1994年の254社、1996年の246社となっており、アジアへの進出が著しい。



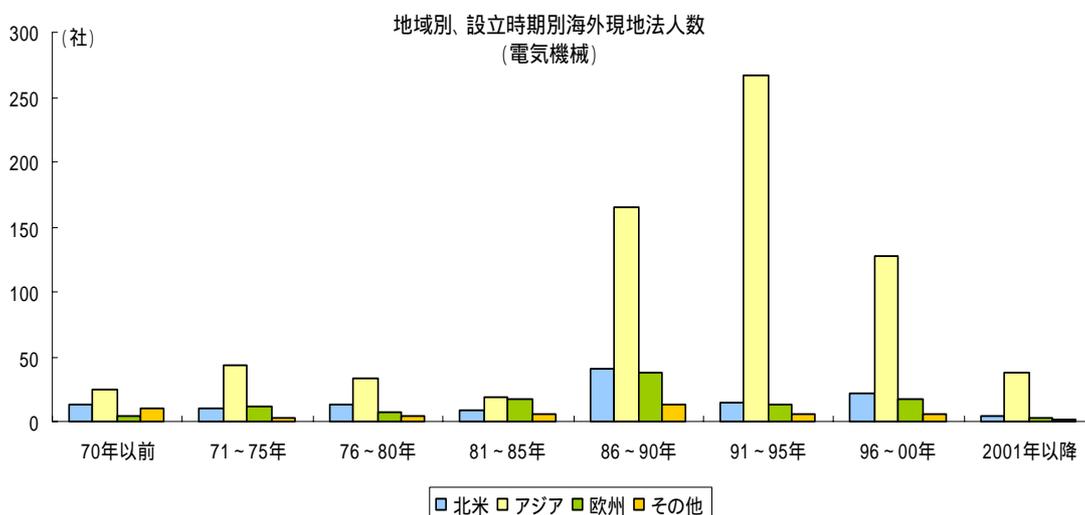
## (3) 業種別設立時期

業種別に設立時期をみると、「1986～2000年」までの間で海外進出が著しい業種は電気機械、輸送機械であり、それぞれの業種で15年間に約7割が進出している。



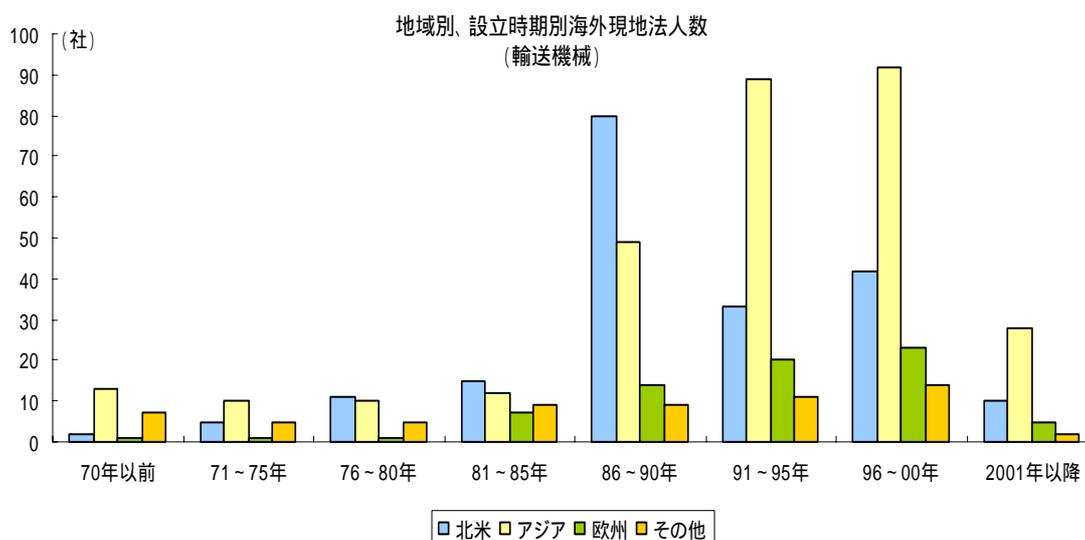
## 【電気機械】

電気機械の進出状況を地域別、設立時期別にみると、北米、欧州は「1986～1990年」がピーク。他方、アジアは「1986～1990年」に急増し、「1991～1995年」で更に増え、この5年間で進出のピーク期間となった。その後、新規進出は減少している。



## 【輸送機械】

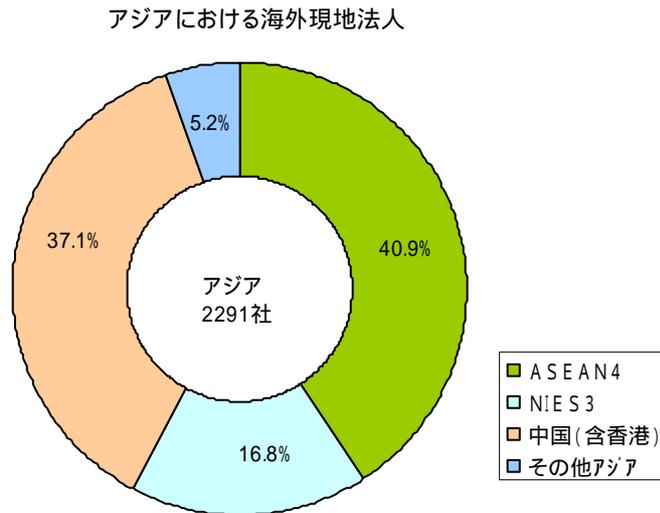
輸送機械の進出状況を地域別、設立時期別にみると、北米は「1986～1990年」に急増し、進出のピーク期間となり、次いで「1996～2000年」の進出が多い。アジアは「1986～1990年」に急増、次の「1991～2000年」の10年間で全体の6割が進出している。欧州は、北米、アジアほど急激な進出にはなっていないが、1981年以降緩やかに増加し「1996～2000年」にピークとなっている。



## 2. アジアの海外現地法人

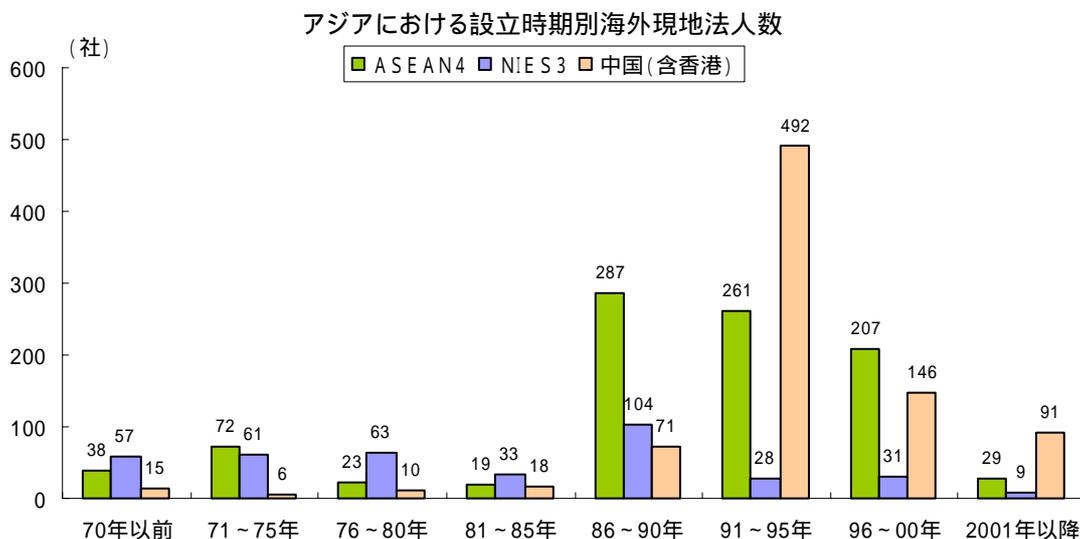
### (1) アジアの海外現地法人数

アジアの海外現地法人数は 2,291 社で、そのうち ASEAN 4 に 936 社（アジアに占める割合 40.9%）、中国（香港を含む）に 849 社（同 37.1%）、NIES 3 に 386 社（同 16.8%）となっている。



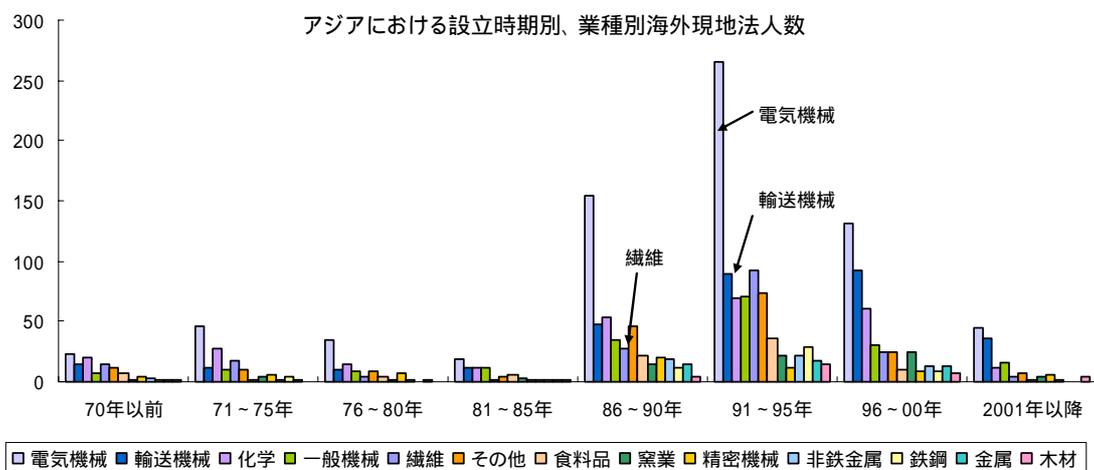
### (2) 地域別設立時期

設立時期別にアジアへの進出状況を見ると、中国（香港を含む）は、1990年代前半「1991～1995年」に急激な進出があったが、後半「1996～2000年」は急激に減少した。また、ASEAN 4は「1986～1990年」が最も多く、比較的高いレベルでの進出が2000年まで続いている。なお、「1980年以前」での進出はNIES 3が6割強を占めている。

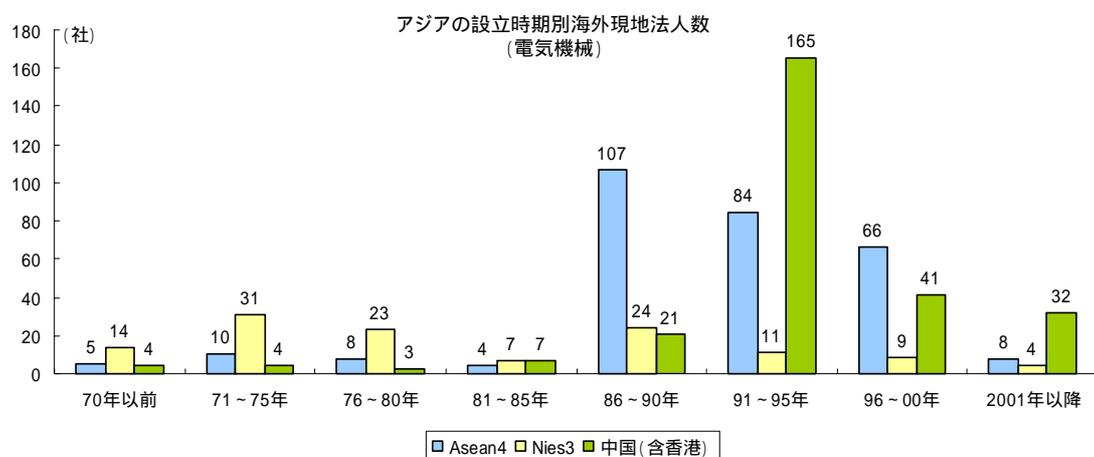


### (3) 業種別設立時期

アジアにおける業種別海外現地法人数は、電気機械が718社(アジアに占める割合31.3%)、輸送機械314社(同13.7%)、化学267社(同11.7%)の順となっている。設立時期別にみると、アジアへの進出が急激に増え始めた「1986～1990年」は電気機械が進出の中心であり、特にアジアでのIT化が急進展し「1991～1995年」に電気機械の増加が目立つ。「1986～1995年」の10年間で電気機械の6割が進出している。また、輸送機械も1986年以降、現在も進出企業が増えている状況となっている。



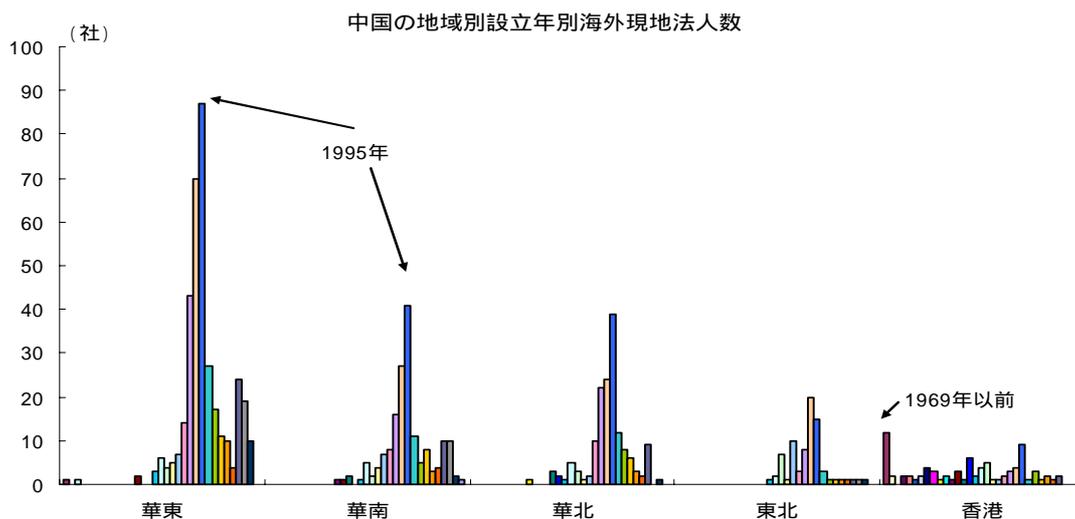
アジアの電気機械の設立時期別海外現地法人数をみると、「1986～1990年」にASEAN4に急激に進出、その後なだらかに進出数が減少。一方、中国は「1991～1995年」に急激に増加した。



### 3. 中国の海外現地法人

#### (1) 設立時期別状況

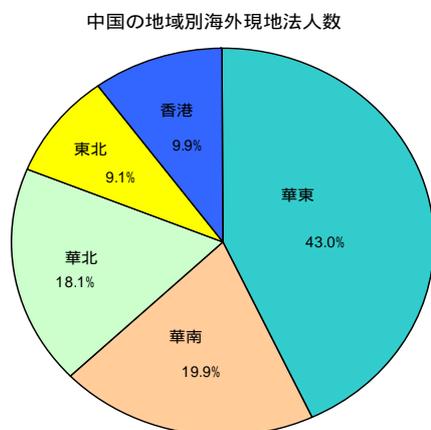
1990年代に入ると、土地・賃金の安さ、労働力を求めて、日系企業が上海などの華東を中心に中国各地に進出したが、香港を除き1995年をピークとして、その前後数年間に進出企業が集中している。一方、香港は2割弱が「1969年以前」の設立と、他地域に比較して古くから進出している状況がみとれる。



東北：黒竜江省、吉林省、遼寧省 華北：北京市、天津市、河北省、山東省、山西省、河南省、貴州省、雲南省  
 華東：上海市、重慶市、江蘇省、安徽省、江西省、湖北省、湖南省、四川省  
 華南：海南省、広東省、福建省

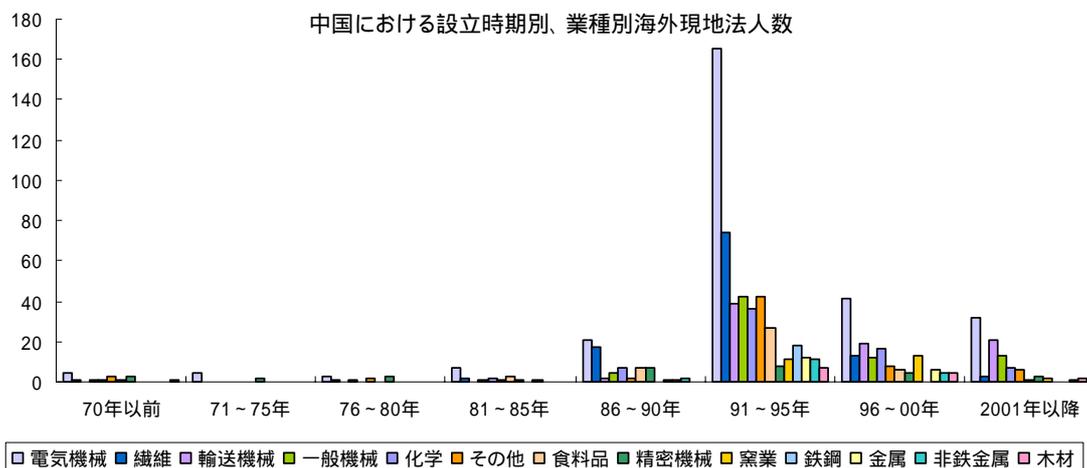
#### (2) 中国における地域別の進出状況

中国（香港を含む）に設立された849社を地域別にみると、上海市などの華東に365社（中国に占める割合43.0%）、華南に169社（同19.9%）、華北に154社（同18.1%）となっている。



### (3) 業種別設立時期

業種別にみると、「1991～1995年」に電気機械、繊維をはじめ当調査における13業種すべての設立が集中している。以降、進出現地法人はすべての業種で減少し、なかでも電気機械、繊維が大きく減少している。



### (4) 電気機械の進出状況

中国への進出の主要業種である電気機械をみると、1992～1995年にかけて半導体などの電子部品・デバイス製造業、テレビ・ラジオ、携帯電話などの通信機械器具・同関連機械器具製造業が多く進出した。なお、電子部品・デバイス製造業は、1999年から2001年にかけて2つ目の進出の山ができています。

